

題行動の重大度ごとで、差異は認められなかった。

措置解除した事例の 27.3%は通院となっていたが、60.1%は入院継続しており、これらの事例が最終的にいつ退院したかは、この調査からは明らかではなかった。

入院継続率と問題行動の重大度では、明らかな関連は認められなかった。

## 8 自治体別の状況

措置入院の運用に地域差があることは他の研究からも指摘されているが<sup>2)</sup>、この研究においても地域により、措置入院と判断される割合（措置入院率）が高い自治体、措置入院率が低い自治体があり、同様のことは措置入院後解除となった割合（措置解除率）についても認められた。

このうち、緊急措置入院を多用されている自治体には、精神科救急入院としての対応が考えられる場面も認められたが<sup>3)</sup>、一部には応急入院の代用とも考えられる事例も散見された。

## E 結論

措置入院に関する診察における指定医の判断に際しては、法律上、「自傷他害のおそれ」という抽象的な基準が与えられているのみである。こ

のため、措置入院の時点で曖昧な基準により、恣意的な運用がなされているのではないかという懸念が、かねてからつきまとっている。

しかし、現実には警察官通報を契機に措置入院となっているのは、自傷他害のおそれが差し迫っており、緊急に治療を要する事例が多く、一部に判断に疑問がある事例が認められた。このことから、法律や政省令、通達等に書かれていない、より医学的な基準が、各指定医の間に共有されており、この基準に若干の地域差があること、一部に独自の基準を用いる指定医がいること、判断が困難な場合があること、特殊な事態に対応を要する場合や薬物の自己使用など対応を統一すべき場合があると思われた。

このため、今後は具体的にはどのような疾患、状態像、問題行動がある事例を措置入院の対象としていくのかについて、指定医の間で基準を共有し、できるだけ一定の判断基準で判定していく必要があると思われた。また、判断が困難な場合や特殊な事態への対応に関連して、自傷他害行為の範囲、おそれとして予測すべき期間については、一定の基準を明らかにする必要がある。

また、措置入院した事例が最終的にどのような形で退院し、どのよう

な形で退院後の医療を受けているのかについては、この調査でも、措置解除までを調査するのが限度であり、ほとんど資料がない。今後は、措置入院した事例がどのような医療を受け、措置解除後にどのような転帰をたどっているのかを明らかにする必要もある。

#### F 健康危険情報

なし

#### G 研究発表

1. 論文発表 なし
2. 学会発表 なし

#### H 知的財産権の出願・登録状況（予定を含む）

1. 特許取得 なし
2. 実用新案登録 なし
3. その他 なし

#### I 文献

- 1)堀彰，中村研之，島田達洋，他．措置診察における二人の指定医間の評価項目一致率．精神医学．44．743-751．2002
- 2)磯村大，犬尾貞文，井上俊宏，他．新規措置入院の現状－1995年度都道府県新規措置調査報告－．精神誌．101．392-401．1999
- 3)西山詮：大都市の措置入院 救急

措置入院の展開と基準．精神神経学雑誌 101：727-736，1999

4)竹島正．措置通報等に対する都道府県・政令指定都市の対応状況に関する研究．pp9-37 厚生科学研究費補助金・措置入院制度のあり方に関する研究．平成13年度総括・分担研究報告書．2002

5)吉住昭，藤林武史，瀬戸秀文．措置入院および措置解除にあたっての精神保健指定医の判断基準の実態に関する研究－検察官通報により措置入院に関する診察を受けた事例について－．pp63-116 厚生科学研究費補助金・措置入院制度のあり方に関する研究．平成13年度総括・分担研究報告書．2002

表1 診察した医師数

診察医師数	事例数	%
診断医 2名	446	59.5%
診断医 1名	303	40.5%
計	749	100.0%

表2 年齢・性別

年齢	男性	女性	計	%
10~19歳	22	9	31	4.1%
20~29歳	130	51	181	24.2%
30~39歳	155	55	210	28.0%
40~49歳	124	33	157	21.0%
50~59歳	88	17	105	14.0%
60~69歳	34	13	47	6.3%
70~79歳	11	2	13	1.7%
80~89歳	4	0	4	0.5%
欠損値	1	0	1	0.1%
計	569	180	749	100.0%

表3 初回入院期間

入院期間	計	%
1ヶ月以内	45	6.0%
3ヶ月以内	62	8.3%
6ヶ月以内	23	3.1%
1年以内	9	1.2%
3年以内	7	0.9%
10年以内	5	0.7%
10年超	0	0.0%
欠損値	598	79.8%
計	749	100.0%

表5 前回退院から今回診察までの期間

入院期間	計	%
1ヶ月以内	32	4.3%
3ヶ月以内	19	2.5%
6ヶ月以内	27	3.6%
1年以内	19	2.5%
3年以内	40	5.3%
10年以内	28	3.7%
10年超	8	1.1%
欠損値	576	76.9%
計	749	100.0%

表4 前回入院期間

入院期間	計	%
1ヶ月以内	51	6.8%
3ヶ月以内	43	5.7%
6ヶ月以内	23	3.1%
1年以内	15	2.0%
3年以内	10	1.3%
10年以内	3	0.4%
10年超	0	0.0%
欠損値	604	80.6%
計	749	100.0%

表6 措置入院歴の有無

措置入院歴	計	%
あり	66	8.8%
なし	683	91.2%
計	749	100.0%

表7 診断

診断	計	%
F00～F09 器質性精神障害	18	2.4%
F10～F19 精神作用物質による障害	109	14.6%
F20～F29 精神分裂病, 妄想性障害など	386	51.5%
F30～F39 気分障害	31	4.1%
F40～F49 神経症性障害, ストレス関連障害など	7	0.9%
F50～F59 生理的障害など	2	0.3%
F60～F69 人格障害	49	6.5%
F70～F79 精神遅滞	4	0.5%
F80～F89 心理的発達の障害	0	0.0%
F90～F98 小児期および青年期の行動・情緒障害	4	0.5%
F99 特定不能の精神障害	0	0.0%
G40～G41 てんかん	0	0.0%
精神障害なし	0	0.0%
その他	109	14.6%
不一致	30	4.0%
計	749	100.0%

表8 問題行動の重大度別診断

診断	対人	対物	自傷	その他	計
F00～F09 器質性精神障害	14	0	2	2	18
F10～F19 精神作用物質による障害	76	5	13	15	109
F20～F29 精神分裂病, 妄想性障害など	266	36	45	39	386
F30～F39 気分障害	15	4	12	0	31
F40～F49 神経症性障害, ストレス関連障害など	7	0	0	0	7
F50～F59 生理的障害など	1	0	1		2
F60～F69 人格障害	36	2	10	1	49
F70～F79 精神遅滞	3	0	0	1	4
F80～F89 心理的発達の障害	0	0	0	0	0
F90～F98 小児期および青年期の行動・情緒障害	4	0	0	0	4
F99 特定不能の精神障害	0	0	0	0	0
G40～G41 てんかん	0	0	0	0	0
精神障害なし	0	0	0	0	0
その他	71	12	17	9	109
不一致	22	3	4	1	30
計	515	62	104	68	749

警察官通報 (法24条)

表9 問題行動別チエック状況

問題行動	指定医2名の診察						指定医1名の診察					
	チエックせず			不一致			チエック			チエックせず		
	(A)	(B)	(C)	(D)	C/D	Cohen κ	(E)	(F)	(G)	(I)	(A+E)	(A+E)/I
殺人	5	417	24	446	5.4%	0.27	12	291	303	749	17	2.3%
傷害	108	206	132	446	29.6%	0.38	101	202	303	749	209	27.9%
暴行	54	299	93	446	20.9%	0.40	61	242	303	749	115	15.4%
脅迫	54	299	93	446	20.9%	0.40	61	242	303	749	115	15.4%
自殺企図	55	348	43	446	9.6%	0.67	63	240	303	749	118	15.8%
自傷	69	290	87	446	19.5%	0.49	88	215	303	749	157	21.0%
不潔	26	352	68	446	15.2%	0.34	41	262	303	749	67	8.9%
放火または弄火	29	398	19	446	4.3%	0.74	19	284	303	749	48	6.4%
器物損壊	134	207	105	446	23.5%	0.53	96	207	303	749	230	30.7%
窃盗	11	412	23	446	5.2%	0.47	11	292	303	749	22	2.9%
侮辱	11	369	66	446	14.8%	0.17	24	279	303	749	35	4.7%
強盗	2	439	5	446	1.1%	0.44	5	298	303	749	7	0.9%
恐喝	8	402	36	446	8.1%	0.26	14	289	303	749	22	2.9%
徘徊	59	279	108	446	24.2%	0.36	95	208	303	749	154	20.6%
家宅侵入	37	348	61	446	13.7%	0.48	48	255	303	749	85	11.3%
性的異常行動	7	427	12	446	2.7%	0.52	5	298	303	749	12	1.6%
風俗犯的行動	1	438	7	446	1.6%	0.21	3	300	303	749	4	0.5%
無断離院	4	414	28	446	6.3%	0.19	22	281	303	749	26	3.5%
無銭飲食	6	432	8	446	1.8%	0.59	10	293	303	749	16	2.1%
無賃乗車	8	434	4	446	0.9%	0.80	12	291	303	749	20	2.7%
その他	6	407	33	446	7.4%	0.23	13	290	303	749	19	2.5%

表10 問題行動群別チェック状況

問題行動	指定医2名の診察					指定医1名の診察					合計	チェックあり (A+E)	チェック率 (A+E)/I
	(A)	(B)	(C)	(D)	C/D	Cohen κ	チェック	チェックせず	小計	(I)			
	2名チェック	チェック	チェックせず	不一致	小計	不一致率	Cohen κ	チェック	チェックせず	小計			
問題行動第1群A	242	111	93	446	20.9%	0.55	161	142	303	749	403	53.8%	
問題行動第1群B	286	75	85	446	19.1%	0.52	156	147	303	749	442	59.0%	
問題行動第2群A	98	254	94	446	21.1%	0.53	112	191	303	749	210	28.0%	
問題行動第2群B	114	207	125	446	28.0%	0.42	120	183	303	749	234	31.2%	
問題行動第3群A	155	186	105	446	23.5%	0.53	109	194	303	749	264	35.2%	
問題行動第3群B	172	160	114	446	25.6%	0.50	101	202	303	749	273	36.4%	
問題行動第4群A	76	260	110	446	24.7%	0.40	101	202	303	749	177	23.6%	
問題行動第4群B	80	239	127	446	28.5%	0.35	99	204	303	749	179	23.9%	
問題行動第5群A	15	408	23	446	5.2%	0.54	18	285	303	749	33	4.4%	
問題行動第5群B	21	380	45	446	10.1%	0.43	34	269	303	749	55	7.3%	
問題行動第6群A	3	411	32	446	7.2%	0.14	9	294	303	749	12	1.6%	
問題行動第6群B	3	415	28	446	6.3%	0.15	9	294	303	749	12	1.6%	



表1-1 抑うつ状態の評価における指定医判断の一致状況

症状または状態	指定医2名の診察				指定医1名の診察				計			
	2名認定 (A)	認定せず (B)	不一致 (C)	小計 (D)	不一致率 C/D	Cohen κ	認定 (E)	認定せず (F)	小計 (G)	合計 (H)	認定数 (A+E)	認定率 (A+E)/H
I 抑うつ状態	28	371	47	446	10.5%	0.50	60	243	303	749	88	11.7%
I.1 抑うつ気分	28	371	47	446	10.5%	0.50	60	243	303	749	88	11.7%
I.2 内的不穏	11	400	35	446	7.8%	0.34	34	269	303	749	45	6.0%
I.3 焦燥・激越	8	406	32	446	7.2%	0.30	30	273	303	749	38	5.1%
I.4 精神運動抑制	0	440	6	446	1.3%	-0.01	6	297	303	749	6	0.8%
I.5 罪責感	3	438	5	446	1.1%	0.60	7	296	303	749	10	1.3%
I.6 自殺念慮または企図	17	398	31	446	7.0%	0.50	33	270	303	749	50	6.7%
I.7 睡眠障害	8	406	32	446	7.2%	0.30	28	275	303	749	36	4.8%
I.8 食欲障害または体重減少	1	433	12	446	2.7%	0.13	14	289	303	749	15	2.0%
I.9 その他	0	444	2	446	0.4%	0.00	2	301	303	749	2	0.3%

表1-2 躁状態の評価における指定医判断の一致状況

症状または状態	指定医2名の診察				指定医1名の診察				計			
	2名認定 (A)	認定せず (B)	不一致 (C)	小計 (D)	不一致率 C/D	Cohen κ	認定 (E)	認定せず (F)	小計 (G)	合計 (I)	認定数 (A+E)	認定率 (A+E)/I
II 躁状態	35	333	78	446	17.5%	0.37	57	246	303	749	92	12.3%
II.1 高揚気分	15	399	32	446	7.2%	0.45	14	289	303	749	29	3.9%
II.2 多弁・多動	23	399	34	446	7.6%	0.53	27	276	303	749	50	6.7%
II.3 行為心逸	7	420	19	446	4.3%	0.40	10	293	303	749	17	2.3%
II.4 思考奔逸	12	409	25	446	5.6%	0.46	6	297	303	749	18	2.4%
II.5 易怒性・刺激性亢進	30	350	66	446	14.8%	0.39	47	256	303	749	77	10.3%
II.6 睡眠障害	6	406	34	446	7.6%	0.22	19	284	303	749	25	3.3%
II.7 躁大性	9	414	23	446	5.2%	0.41	10	293	303	749	19	2.5%
II.8 その他	0	444	2	446	0.4%	0.00	1	302	303	749	1	0.1%

表1-3 幻覚妄想状態の評価における指定医判断の一致状況

症状または状態	指定医2名の診察				指定医1名の診察				計			
	2名認定 (A)	認定せず (B)	不一致 (C)	小計 (D)	不一致率 C/D	Cohen κ	認定 (E)	認定せず (F)	小計 (G)	合計 (I)	認定数 (A+E)	認定率 (A+E)/I
III 幻覚妄想状態	281	89	76	446	17.0%	0.60	191	112	303	749	472	63.0%
III.1 幻覚	170	178	98	446	22.0%	0.56	137	166	303	749	307	41.0%
III.2 妄想	225	119	102	446	22.9%	0.52	148	155	303	749	373	49.8%
III.3 させられ体験	15	372	59	446	13.2%	0.26	28	275	303	749	43	5.7%
III.4 思考形式の障害	79	223	144	446	32.3%	0.29	104	199	303	749	183	24.4%
III.5 著しく奇異な行動	59	265	122	446	27.4%	0.31	78	225	303	749	137	18.3%
III.6 その他	2	421	23	446	5.2%	0.12	16	287	303	749	18	2.4%

表14 精神運動興奮状態の評価における指定医判断の一致状況

症状または状態像	指定医2名の診察				指定医1名の診察				計	
	2名認定		不一致		認定		認定せず			合計
	(A)	(B)	(C)	(D)	(E)	(F)	(G)			
IV精神運動興奮	261	69	116	446	0.18	26.0%	C/D	749	452	60.3%
IV1.激怒思考	71	262	113	446	0.38	25.3%		749	138	18.4%
IV2.強い表情	77	216	153	446	0.01	34.3%		749	180	24.0%
IV3.興奮状態	165	141	140	446	0.36	31.4%		749	299	39.9%
IV4.衝動行為	137	157	152	446	0.32	34.1%		749	262	35.0%
IV5.自傷	21	373	52	446	0.38	11.7%		749	48	6.4%
IV6.その他	0	423	23	446	-0.02	5.2%		749	9	1.2%

表15 昏迷状態の評価における指定医判断の一致状況

症状または状態像	指定医2名の診察				指定医1名の診察				計	
	2名認定		不一致		認定		認定せず			合計
	(A)	(B)	(C)	(D)	(E)	(F)	(G)			
V昏迷状態	9	411	26	446	0.38	5.8%	C/D	749	19	2.5%
V1.無言	6	433	7	446	0.62	1.6%		749	11	1.5%
V2.無動・無反応	3	435	8	446	0.42	1.8%		749	9	1.2%
V3.拒絶・拒食	5	421	20	446	0.31	4.5%		749	10	1.3%
V4.その他	0	444	2	446	0.00	0.4%		749	0	0.0%

表16 意識障害の評価における指定医判断の一致状況

症状または状態像	指定医2名の診察				指定医1名の診察				計	
	2名認定		不一致		認定		認定せず			合計
	(A)	(B)	(C)	(D)	(E)	(F)	(G)			
VI意識障害	7	412	27	446	0.32	6.1%	C/D	749	29	3.9%
VI1.意識混濁	1	436	9	446	0.14	2.0%		749	7	0.9%
VI2.せん妄	1	440	5	446	0.28	1.1%		749	6	0.8%
VI3.もうろう	0	442	4	446	0.00	0.9%		749	2	0.3%
VI4.錯乱	2	431	13	446	0.24	2.9%		749	13	1.7%
VI5.その他	0	436	10	446	-0.01	2.2%		749	2	0.3%

表 1.7 知能障害の評価における指定医判断の一致状況

指定医 2名の診療 2名認定 認定せず	指定医 1名の診療				計	
	不一致	小計	不一致率	Cohen κ	認定	認定せず
(A)	(B)	(C)	(D)	(E)	(F)	(G)
11	420	15	446	10	293	303
症状または状態像			C/D	0.58	3.4%	749
VI知能障害						21
						(A+E) / (A+E) / 1
						2.8%

表 1.8 精神遅滞の評価における指定医判断の一致状況

指定医 2名の診療 2名軽度 2名中等度 2名重度 程度不一致 2名なし 不一致	指定医 1名の診療				計	
	程度不一致	程度一致	程度一致	程度一致	認定	認定せず
(A)	(B)	(C)	(D)	(E)	(F)	(G)
3	4	0	0	424	15	446
症状または状態像			F/G	3.4%	0	298
VIIA精神遅滞						0
						(J) (K) (L)
						303
						748
						12
						1.6%

表 1.9 痴呆の評価における指定医判断の一致状況

指定医 2名の診療 2名認定 認定せず	指定医 1名の診療				計	
	不一致	小計	不一致率	Cohen κ	認定	認定せず
(A)	(B)	(C)	(D)	(E)	(F)	(G)
2	441	3	446	0.57	0.7%	303
症状または状態像			C/D	0.67	0.2%	749
VIIB痴呆						6
VIIB1.全体的						0.8%
VIIB2.まだら						0.3%
VIIB3.仮性						0.3%
VIIB4.その他						0.0%

表 2.0 人格障害の評価における指定医判断の一致状況

指定医 2名の診療 2名認定 認定せず	指定医 1名の診療				計	
	不一致	小計	不一致率	Cohen κ	認定	認定せず
(A)	(B)	(C)	(D)	(E)	(F)	(G)
59	263	124	446	66	237	303
症状または状態像			C/D	0.30	27.8%	749
VI人格の病的状態						125
VIA人格障害						16.7%
VIA1.妄想性						88
VIA2.衝動性						11.7%
VIA3.演技性						12
VIA4.回避性						1.6%
VIA5.その他						62
VIB発達性人格変化						8.3%
VIB1.欠陥状態						12
VIB2.無関心						1.6%
VIB3.無為						4
VIB4.その他						0.5%

表 2.1 その他の症状または状態または状態の評価における指定医判断の一致状況

症状または状態	指定医 2 名の診療				指定医 1 名の診療				計			
	2 名認定 (A)	認定せず (B)	不一致 (C)	小計 (D)	不一致率 C/D	Cohen κ	認定 (E)	認定せず (F)	小計 (G)	合計 (I)	認定数 (A+E)	認定率 (A+E)/I
IXその他	46	340	60	446	13.5%	0.52	51	252	303	749	97	13.0%
IXA性心理的障害	0	444	2	446	0.4%	0.00	0	303	303	749	0	0.0%
IXA1.フェティシズム	0	445	1	446	0.2%	0.00	0	303	303	749	0	0.0%
IXA2.サド・マゾヒズム	0	446	0	446	0.0%	0.00	0	303	303	749	0	0.0%
IXA3.小児愛	0	446	0	446	0.0%	0.00	0	303	303	749	0	0.0%
IXA4.その他	0	445	1	446	0.2%	0.00	0	303	303	749	0	0.0%
IXB薬物依存	32	388	26	446	5.8%	0.68	35	268	303	749	67	8.9%
IXB1.覚醒剤	20	409	17	446	3.8%	0.68	24	279	303	749	44	5.9%
IXB2.有機溶剤	10	429	7	446	1.6%	0.73	6	297	303	749	16	2.1%
IXB3.睡眠薬	2	439	5	446	1.1%	0.44	3	300	303	749	5	0.7%
IXB4.その他	3	436	7	446	1.6%	0.45	6	297	303	749	9	1.2%
IXCアルコール症	29	389	28	446	6.3%	0.64	23	280	303	749	52	6.9%
IXDその他	2	424	20	446	4.5%	0.14	9	294	303	749	11	1.5%

表 2.2 措置要否判断

措置要否判断	計	%
要措置	580	77.4%
不要措置	169	22.6%
計	749	100.0%

表 2.3 措置要否判断の状況

要措置	措置不要				小計	C/A+B+C	5.0%
	指定医 1 名	指定医 2 名	指定医 1 名	指定医 2 名			
要措置一致	要措置	不要一致	不要一致	不要一致	小計		
(A)	(B)	(C)	(D)	(E)	(F)	(G)	(H)
375	195	10	580	22	21	126	169

※指定医 1 名の診察で措置入院となった事例は、研究班には診断書が 1 通しか届いていないが、措置入院したことが他の資料より明らかな事例である。

表 2.4 診断別措置要否判断の状況

診断	要措置				措置不要				合計	措置率
	指定医 2 名	指定医 1 名	指定医 1 名	指定医 2 名	指定医 2 名	指定医 1 名	指定医 1 名	指定医 2 名		
	(A)	(B)	(C)	(D)	(E)	(F)	(G)	(H)	(I)	D/I
F00~F09	10	4	0	14	1	0	3	4	18	77.8%
F10~F19	54	29	1	84	1	2	22	25	109	77.1%
F20~F29	217	121	2	340	8	8	29	45	385	88.3%
F30~F39	15	8	0	23	1	0	7	8	31	74.2%
F40~F49	2	0	0	2	0	0	5	5	7	28.6%
F50~F59	0	0	0	0	1	0	1	2	2	0.0%
F60~F69	18	10	0	28	4	3	13	20	48	58.3%
F70~F79	3	0	0	3	0	0	1	1	4	75.0%
F80~F89	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
F90~F98	1	0	0	1	1	0	2	3	4	25.0%
F99	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
G40~G41	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
精神障害なし	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
その他	33	22	7	62	3	2	43	48	110	56.4%
不一致	22	1	23	23	2	6	8	8	31	74.2%
計	375	195	10	580	22	21	126	169	749	77.4%

表 2.5 問題行動の重大度別措置要否判断の状況

問題行動	要措置				措置不要				合計	措置率
	指定医2名	指定医1名	指定医1名	指定医1名	指定医2名	指定医2名	指定医1名	指定医1名		
	(A)	(B)	(C)	(D)	(E)	(F)	(G)	(H)		
对人他害行為	263	120	9	392	16	17	90	123	515	76.1%
対物他害行為	33	20	1	54	1	1	6	8	62	87.1%
自傷行為	45	38	0	83	4	2	15	21	104	79.8%
欠損値	34	17	0	51	1	1	15	17	68	75.0%
計	375	195	10	580	22	21	126	169	749	77.4%

表 2.6 措置不要直後の対応

処遇	措置不要例	%
任意入院	7	4.1%
医療保護入院	96	56.8%
通院	39	23.1%
医療不要	14	8.3%
欠損値	13	7.7%
計	169	100.0%

表27 診断別措置不要後の対応

診断	任意入院	医療保護入院	通院	医療不要	欠損値	計
F00～F09 器質性精神障害	0	2	1	0	1	4
F10～F19 精神作用物質による障害	2	14	4	2	3	25
F20～F29 精神分裂病, 妄想性障害など	0	38	3	2	2	45
F30～F39 気分障害	1	6	1	0	0	8
F40～F49 神経症性障害, ストレス関連障害など	0	1	3	1	0	5
F50～F59 生理的障害など	0	2	0	0	0	2
F60～F69 人格障害	0	6	9	2	3	20
F70～F79 精神遅滞	0	0	0	0	1	1
F80～F89 心理的発達障害	0	0	0	0	0	0
F90～F98 小児期および青年期の行動・情緒障害	0	2	1	0	0	3
F99 特定不能の精神障害	0	0	0	0	0	0
G40～G41 てんかん	0	0	0	0	0	0
精神障害なし	0	0	0	0	0	0
その他	3	25	11	6	3	48
不一致	1	0	6	1	0	8
計	7	96	39	14	13	169

表28 問題行動の重大度別措置不要後の対応

問題行動	任意入院	医療保護入院	通院	医療不要	欠損値	計
対人他害行為	7	70	25	12	9	123
対物他害行為	0	5	3	0	0	8
自傷行為	0	13	6	1	1	21
欠損値	0	8	5	1	3	17
計	7	96	39	14	13	169

表 2 9 措置入院 6 ヶ月後の転帰

	計	%
措置解除	504	86.9%
内訳	16	2.8%
緊急措置後に措置非該当	490	84.5%
措置症状消褪届提出	76	13.1%
措置継続	580	100.0%

表 3 0 診断別措置入院 6 ヶ月後の転帰

診断	措置解除	措置継続	計
F00～F09	12	2	14
F10～F19	79	5	84
F20～F29	293	47	340
F30～F39	21	2	23
F40～F49	2	0	2
F50～F59	0	0	0
F60～F69	26	2	28
F70～F79	2	1	3
F80～F89	0	0	0
F90～F98	0	1	1
F99	0	0	0
G40～G41	0	0	0
精神障害なし	0	0	0
その他	50	12	62
不一致	19	4	23
計	504	76	580



表 3 1 問題行動の重大度別措置入院 6 ヶ月後の転帰

問題行動	措置解除	措置継続	計
対人他害行為	339	53	392
対物他害行為	47	7	54
自傷行為	75	8	83
欠損値	43	8	51
計	504	76	580

表 3 2 措置解除直後の対応

転帰	計	%
任意入院	99	19.6%
医療保護入院	202	40.1%
通院	134	26.6%
医療不要	4	0.8%
欠損値	65	12.9%
計	504	100.0%

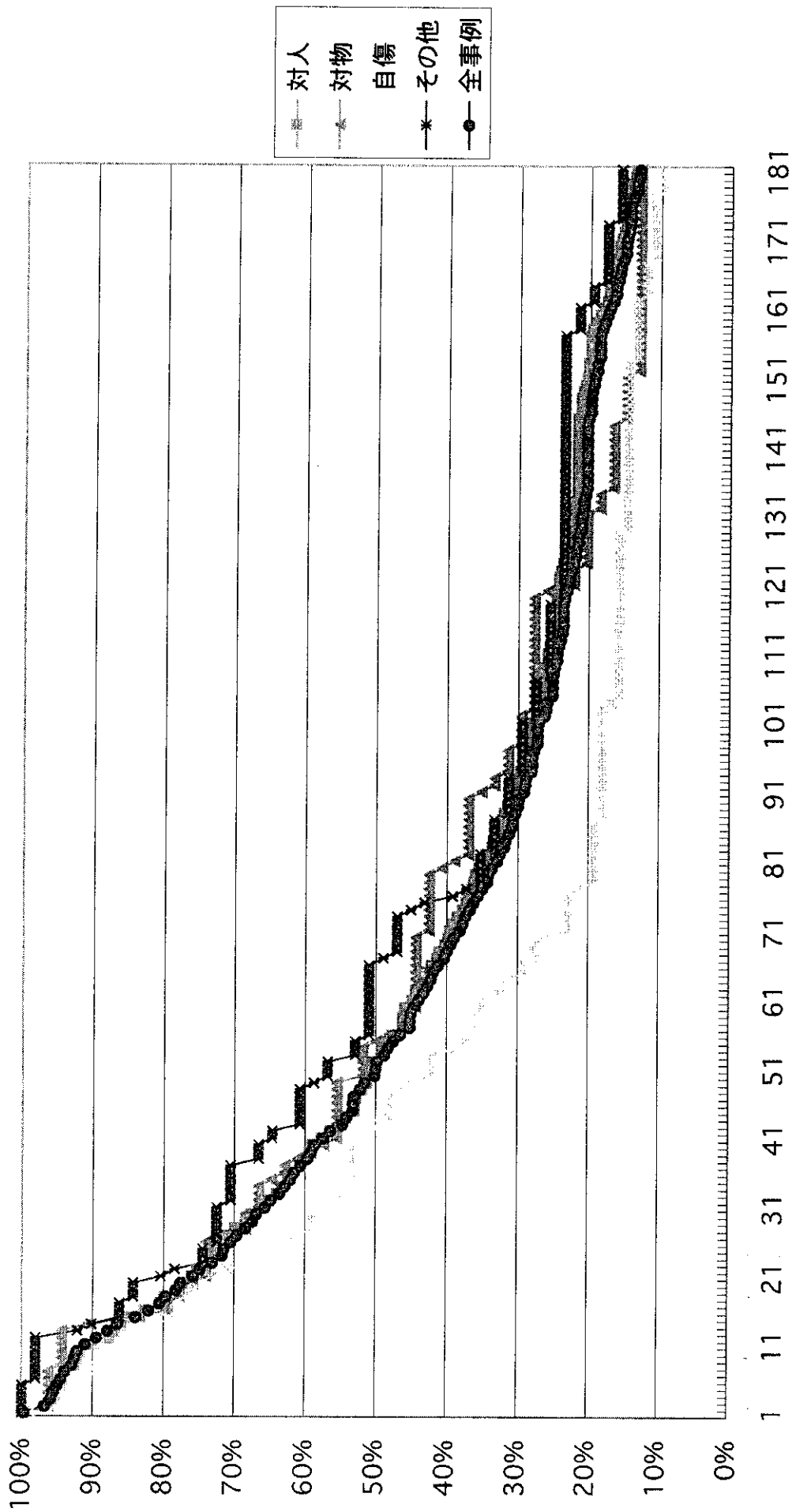
表 3 3 診断別措置解除後の対応

診断	任意入院	医療保護入院	通院	医療不要	欠損値	計
F00～F09 器質性精神障害	3	6	2	0	1	12
F10～F19 精神作用物質による障害	18	23	22	0	16	79
F20～F29 精神分裂病, 妄想性障害など	54	140	68	1	30	293
F30～F39 気分障害	5	5	9	0	2	21
F40～F49 神経症性障害, ストレス関連障害など	0	1	1	0	0	2
F50～F59 生理的障害など	0	0	0	0	0	0
F60～F69 人格障害	3	3	14	1	5	26
F70～F79 精神遅滞	0	2	0	0	0	2
F80～F89 心理的発達の障害	0	0	0	0	0	0
F90～F98 小児期および青年期の行動・情緒障害	0	0	0	0	0	0
F99 特定不能の精神障害	0	0	0	0	0	0
G40～G41 てんかん	0	0	0	0	0	0
精神障害なし	0	0	0	0	0	0
その他	11	13	13	2	11	50
不一致	5	9	5	0	0	19
計	99	202	134	4	65	504

表 3 4 問題行動の重大度別措置解除後の対応

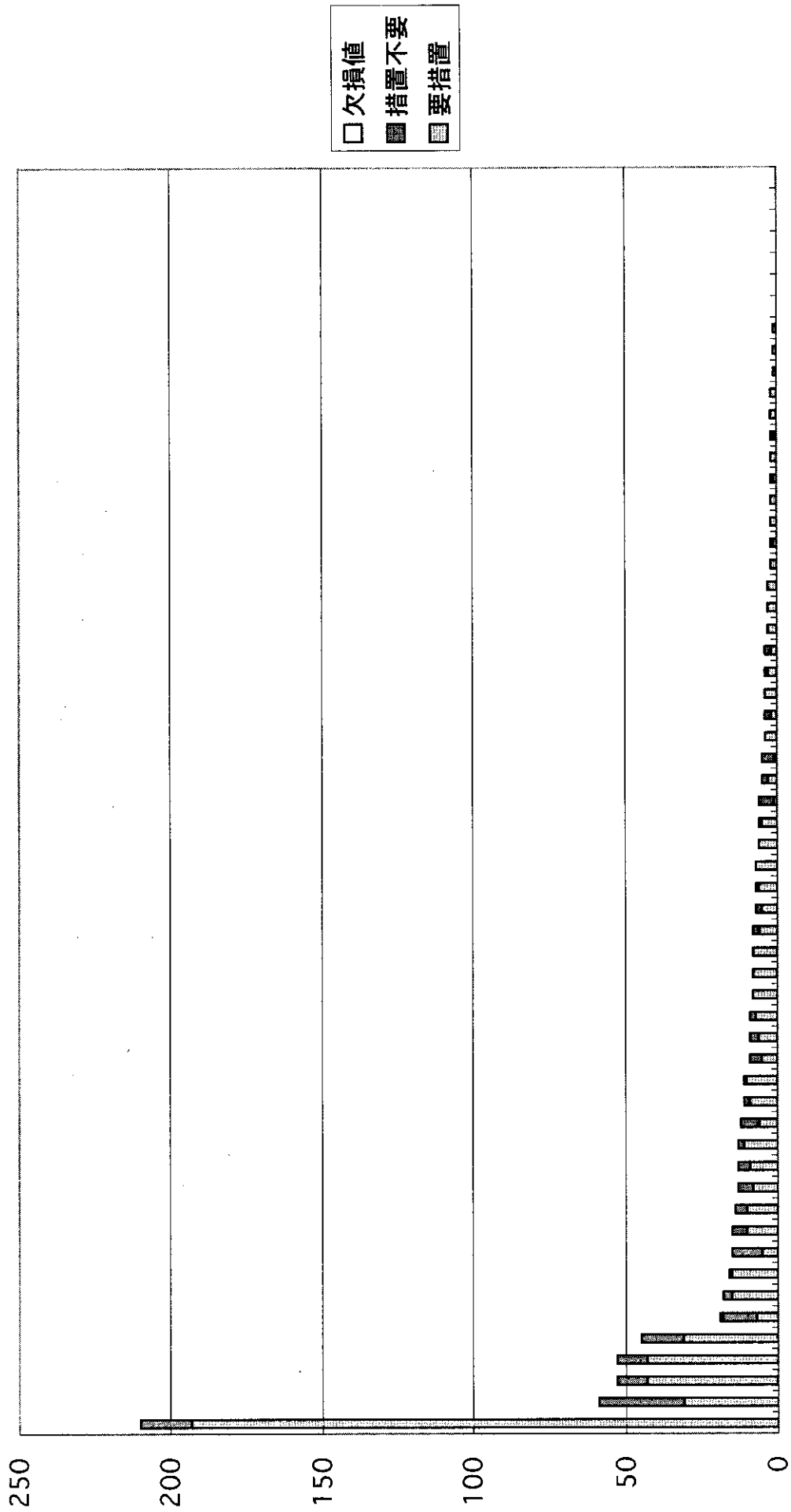
問題行動	任意入院	医療保護入院	通院	医療不要	欠損値	計
対人他害行為	61	144	93	3	38	339
対物他害行為	10	16	15	0	6	47
自傷行為	18	21	21	0	15	75
欠損値	10	21	5	1	6	43
計	99	202	134	4	65	504

図1 入院継続率



警察官通報 (法24条)

図2 自治体別措置診察件数ならびに措置要否



警察官通報 (法24条)